

新年、明けましておめでとうございます 働き続けられる学校現場をつくろう！

香川教育

発行所
高松市田村町1033-3
TEL (087) 867-4797
FAX (087) 867-6446
kakyoso@kakyoso.com
香川県教職員組合
定価 1部50円 1月100円
組合員の購読料は組合費に含む

香教組ホームページ

<http://kakyoso.com/>

全日本教職員組合委員長あいさつ



全日本教職員組合（全教）
中央執行委員長 宮下直樹

希望を語り、
仲間をふやす年に

現場の声が動かししている

裏金問題等で信を失った与党の過半数割れによる新しい政治動向のもと、2025年を迎えました。多くの政党が教育無償化や保護者負担軽減を掲げたことは、私たちのとりくみの反映です。

2024年は、教職員の長時間労働問題が可視化され、その解消が子どもの成長に不可欠であることが広く共有されました。「このままでは学校がもたない！」との街頭宣伝では市民から激励の声がかけられます。「教育研究者署名」20万筆や、「中教審へのパブリックコメント」2万

香教組第101回定期大会
2025年2月23日（日）
サンメッセ香川中会議室
香教組のとりくみと今後の運動を話し合います。組合員の皆さんの参加をお願いします。

件、「11・27一斉定時アクション」1万2千ポスト等の現場の声が政治を動かします。

教員の専門性と労働者性、
自由な時間は全面発達の条件

聖職者かあるいは労働者か。ILO・ユネスコ「教員の地位勧告」は、「教員の仕事は専門職」と位置付けます。聖職者論は、労働者性を否定し無定量的な勤務を支えてきました。また、機械的な労働者論は、創造性・自主性の剥奪や、教育のスタンダード化につながる危険性もあります。

全教は「労働者階級の一人として」とともに、教育の専門家としての国民の負託にこたえ、私たちの要求と国民の教育要求とを統一的に把握する（行動綱領）立場を確立しました。労働時間規制や自由な時間の獲得は、教育の専門家としても不可欠であり、人間の全面発達の条件です。「教員」を「学校で生徒の教育に責任をもつすべての人々」と定義し、「教員」の専門性にふさわしい自主性・創造性を保障する労働条件の確立が必要です。

組合はすべての教職員のもの

2024年末、組合員数は2023年度末現勢を回復し増勢へと転じ、総合共済加入者は過去最高の峰に到達しました！「労働条件は、教員団体と教員の使用者の間の交渉過程を通じて決定」（「教員の地位勧告」）されます。すべての教職員が組合に参加する権利を持ちます。

件、「11・27一斉定時アクション」1万2千ポスト等の現場の声が政治を動かします。

香川県教職員組合委員長あいさつ



香川県教職員組合
中央執行委員長 石川謹章

先生の元気が
子どもたちの元気に

2024年流行した言葉を決める「2024ユーキャン新語・流行語大賞」は、民放テレビドラマ「不適切にもほどがある！」を略した『ふてほど』に決定しました。昭和から令和にタイムスリップした主人公の阿部サダヲさんが、価値観の違いに戸惑いながらもコミカルに奮闘する姿やコンプライアンスに縛られがちな現代を風刺した点が良かったのでしょう。また、『裏金問題』がトップテンに選ばれるな

題」がトップテンに選ばれるな

11・27全国いっせい定時アクションで「一人分だけ」の勇気をふりしぼって三角柱を立てた。すると、となりの先生も立ててくれた」等の報告が多数ありました。全国の職場で、「組合に入ってほしい」の一言を、その思いを伝える1年にしましょう。



ど、政治家（政治資金収支報告書のチェックなど）に対して厳しい目が向けられました。

香教組と県教委は年間何度かの交渉を行っています。23年4月の淀谷圭三郎教育長の就任の挨拶に、「あらゆる事柄に『本当にそうか』と問いかける力や、勝った負けたではなく、みんながより良い方向になるように物事を考える力を大切にしてほしい。」と香川の子どものためにエールを送っています。また、「先生が笑顔なら子どもは安心する。子どもの健全な成長と働き方改革は連動した課題」とも言っています。我々、組合も同感であり、先生方が時間と心のゆとりを持って、笑顔で働けるような職場環境づくりを、互いに目指していきたいと考えています。

安倍・菅・岸田・石破政権の13年間。消費税10%に加え、新型コロナウイルス拡大、ロシアによるウクライナ侵略、パレスチナの紛争、エネルギー価格の上昇などにより、諸物価が高騰し国民生活を襲っています。格

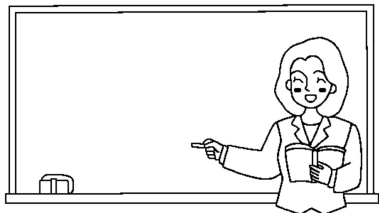
差拡大のため、子どもたちの生活・学習環境の保障が更に厳しくなっています。

現在、教職員の長時間過密労働の常態化、教育現場のブラック化等が原因で、教職に対する人気が低迷し、深刻な教員不足（教員未配置問題）となっています。2023年8月28日、中教審「質の高い教師の確保特別部会」は「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（緊急提言）」を出しており、その中で、「学校・教師が担う業務の3分類」（2019年中教審答申）、すなわち「学校以外が担う業務（登下校、夜間、徴収金等）」「必ずしも教師が担う必要のない業務（調査、清掃、部活動等）」「教師の業務だが負担軽減が可能な業務（給食、授業準備、進路、成績等）」の3分類14のとりくみの対応策の例を示し、その徹底を図ることで「働き方改革」を進めるとしていますが、一向に進んではいません。給特法に関して、文科省と財務省がせめぎ合う状況の中、現場の声として、このような対応策療法ではなく、正規教員を増やす抜本的な定数改善こそやってもらいたいことです。全国の皆さんとともに共同していく必要があります。話は変わりますが、自称！？健康体の私が、昨夏は2回も熱中症に、10月に母が入院、年末には30年ぶりにインフルエンザに罹患してしまい家族が皆、大変でした。香川県の教職員の皆さん。「お互いに健康第一で」、仕事に生活に頑張ってください。本年もよろしくお願ひします。

香教組第328回中央委員会開く



教育条件の改善を！ つながりから仲間を！



香教組は12月21日、香教組会館で第328回中央委員会を開きました。

開会にあたり、石川委員長が最近の教育を取り巻く状況に触れながら、あいさつをしました。佐野書記長から、第327回中央委員会以降の情勢や香教組のとりくみについて説明がありました。

各支部や専門部からの質問や報告、話し合われたことを紹介しました。

高校のタブレット

高校のタブレット半額補助についての見解は？

高教組や保護者の取り組みの結果なので喜ばしい。

教員未配置問題

特別支援学級の担任をしながら6年生を担任するのはどういう状況か？

6年生の担任が育休になった。その代替が見つからなかった。そこで、校長が特別支援学級を見ている講師の先生に声をかけた。市教委には状況を伝えている。教頭もいるが、校長の対応に問題がある。

組織の拡大

周りで学級経営で悩んでいる人の相談はしているが組合の話までにはならない。拡大のとりくみについて知りたい？ 青年部員がつながりを生かして、声をかけている。組合のよき、組合に助けられたことを話している。つながりや

相手の人の苦勞に寄り添うことが大事である。ベテランは、青年とはなかなか話ができないが、バックアップをしている。

教育委員会との交渉

市教委との交渉に中堅や若い人が参加できるようにしている。交渉の様子を見てもいい、交渉での発言を組織することで、組合の力を知っていくことになる。青年の発言で、市教委に現場の声を届けることができる。

人事異動について

昨年度末、人事異動で小豆島への勤務になった人がいる。1週間前に小豆島町の小学校への異動を

言われて不安になった人がいる。もっと早く、具体的に学校名を伝える。前もって、打診をすることが必要である。人事異動については、自分の意思をはっきり、具体的に告げることが重要だ。

特別支援教育について

知的特別支援学校は過大化して、支援が必要な人に対して大変な状況になっている。就学指導委員会では、その子にとって学びの場がどこが適切かを見極めて、適正な就学判定をしてもらいたい。また、それぞれの学びの場について、人的な面も含めて条件整備をしてもらいたい。

また、寄宿舎指導員の採用試験が実施され、2名合格した。12年連続である。

講師登録の面接

「先生増やして」の思い伝わる

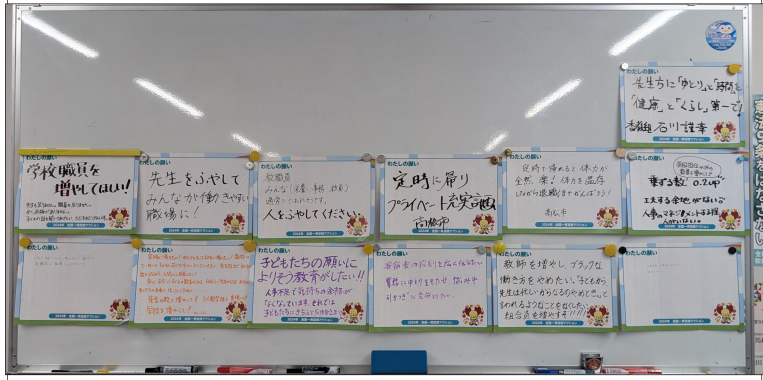
下の写真は、1127全国一斉定時アクションで、香教組がとりくんだ「わたしの願い」を中央委員会の会場に掲示したものです。どれも「先生増やして」の思いでいっぱい。下段、左から2番目の内容を示します。

定時に帰りたい！ゆとりをもって子どもたちに接したい！

教材はていねいに子どもに応じたものによりよくしていきたい！先生同士で子どもの話をしながら、人間として成長したい。

安全・安心に子どもの教育ができる。人間らしい生活ができる。子どもたちの未来をつくっていくために……

先生の数を増やして！ 少人数学級を実現して！ 学校を増やして！



来年度の講師登録の面接があるが、職免対応で行ける。香教組が獲得した大きな成果である。

職員調査票の裏面

職員調査票の裏面の記述欄だが、学校によって伝わり方に差がある。他人で伝え方が違う。教育委員会に、自由に書くことがきちんと伝わるようにしてもらいたい。

大阪・関西万博

大阪・関西万博について保護者は危険性などマイナスの情報を知らない人が多い。アンケートをとると、万博に行くことに賛成が多くなる。

このほか、全教共済のよきなどが報告されました。

「私としては80点。一方、厳しい現場の状況を考えれば及第点ぎりぎり」の61点ぐらいた。12月24日の加藤財務相との折衝の後、阿部文科相が、政府決定をこう評価したことが報道された。中学校での35人学級導入が大きなポイントだろうか▼報道によると、教職調整額は2025年度に5%に引き上げ、30年度までに条件をつけずに10%とする。残業時間は、今後5年間で3割削減して月30時間程度にすることを目標とする。教職員増については、小学校の教科担任制を、まずは4年生まで拡大する。中学校の35人学級を26年度から3年かけて順次実施するという内容だ▼これで、厳しい現場の状況、すなわち、長時間労働は解消されるのだろうか？ 1127全国

ぎりぎりの61点？

一斉定時アクションで寄せられた「わたしの願い」などに応えられるだろうか？▼小学校の先生の授業持ちコマ数は多い。小学校4年生の標準授業時数は中学校と同じである。教科担任制が入っても、ゆとりをもって子どもたちと接することができないのだから。残業時間を月30時間程度に短縮するというが、学校現場の工夫・努力では限界がある▼「わが国の未来を担う子どもたちのため、意義深いものになった」と阿部文科相は言うが、そのためには、もっと国の責任で教育予算を確保し、教員を増やすことが必要である。ちなみに、日本の2021年度の教育予算の公財政支出の対GDPは2・90%、OECD平均は4・15%である。中学校の学級規模は日本は31・8人、OECD平均は22・9人である。